



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年12月15日 第1247「週刊五十嵐レポート」

ファブレス企業

12月11日付朝日新聞、「けいざい+ 家電新時代」という記事。

房総半島の南東にある千葉県いすみ市の廃校になった小学校が本社、パソコンなどのモニターを手掛ける新興企業ジャパンネクスト。代表はベッカー・サムエル氏。ゲームやアニメを通して日本が好きになりフランスから来日。2016年に「ジャパンネクスト」のブランドでモニター販売を始める。この5年間で売上高は10倍に。

成長を支えているのが「ファブレス」という経営形態。自社は企画や設計、開発に専念。生産は外部の企業に委託する。同社のモニター生産を担うのは中国の工場。同社の生命線は「スピード」。新たな液晶パネルが世に出たら、競合より早く製品化できるか否かが経営を左右すると。

生活家電を手掛けるシロカ(千代田区)も中国の工場で製造を委託するファブレス企業。100人満たない社員で炊飯器やトースト、扇風機など幅広い生活家電を手掛ける。重視するのは消費者のニーズの先取り。消費者からの窓口は外部委託せず、寄せられた声に目を通し開発や品質保証の担当は1週間以内に対策を考える。

代表的なファブレス家電であるバルミューダは苦境に陥っている。近年ヒット作を生み出していない。過去3年はギリギリ黒字や大幅な赤字。ファブレス企業の明暗はヒット商品の有無。ユーザーに評価されるアイデア。

昔は東芝、日立、三菱、松下、ソニー、シャープといった大企業がひしめいていた。その企業たちが中国へ工場を建てたり、協力工場を育成していった。現在は家電のモノ作りは中国に移った。その結果日本ではアイリスオーヤマをはじめファブレス化が容易になった。設備を必要としないで家電メーカーになれる。小さな会社でも立ち上げることは可能になった。キーワードは「スピード」「顧客視点」。(ただ影の主役は中国の工場)

ちょっと
気になる出来事

12月13日付朝日新聞の「フロントランナー」は投資コンサルタントの齋藤ジンさん。

世界の超富裕層らの資金を預かり、国際金融市場で運用するヘッジファンド。そうした大口機関投資家向けのコンサルタントを30年続けている。著書に「世界秩序が変わる 新自由主義からゲームチェンジ」がある。

トランプ大統領の登場で、経済に大きく政治が介入する時代になった。米国一強から厳しい米中対立の時代にもなった。

米国は「世界経済」というカジノのオーナーで、この30年間の日本はあまり儲けさせてもらえなかった。中国への警戒から、米国は日本をこれまでよりも儲けやすい有利な席に座らせてくれるはず。

米国は「世界経済」というカジノのオーナーであるというのは面白い。そうするとトランプ大統領の言動もなるほどと思える。日本は今まで儲けさせてくれなかった。これからはいい席を用意していると。株価5万円超はその恩恵か。



一口メモ
知識

言葉と行動

論理的に非の打ち所がない発言をするからといって立派な人物と思いつむのは早合点だよ。

行動に移してみないことには、信頼するに足る人物か、ただの口先人間か分かんもんだよ。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

